

平成26年度 地元報告会【要旨】

日 時：平成27年3月28日（土）17：00～18：20

場 所：多摩ニュータウン環境組合 リサイクルセンター 多目的室1・2

出席者：阿部管理者、會田事務局長、諸星施設課長、芳野総務課長（兼）出納課長、江尻
リサイクルセンター長、事務局5名

参加者：上小山田町内山中地区2名、中組自治会2名、唐木田自治会4名、ヒルサイドタ
ウン鶴牧1名（桐木市議） 計9名

1 説明内容

(1) 主な事業の取り組みについて

①安全対策

・環境測定の充実・ISO14001の更新審査に合格・放射能濃度等測定の充実

②たまかんニュース

・年2回 各117,000部発行・地域版年3回 各回約3,200世帯ポスティング

③地域交流ふれあい事業の実施

・平成26年10月19日たまかんフェスタ（来場者 約1,600人）

④施設見学会の実施（平成27年2月末）

・61団体 2,679人参加

⑤唐木田クリーンアップ作戦

・職員等による工場周辺美化活動・地域との相互協力による唐木田周辺美化活動

⑥リサイクルセンターの運営（平成27年2月末現在）

・281日 29,920人来館

(2) ごみ搬入量の推移

グラフを用いて説明

(3) 平成26年度 多摩清掃工場へのごみ搬入量

八王子市拡大区域、構成市応援処理分を含め平成27年2月末現在で
可燃55,709トン 不燃粗大4,467トン、合計60,176トン

(4) 平成26年度 構成市間応援協定に基づく処理支援の受入れ状況

①八王子市からの「可燃ごみ」受入れ状況

・受入期間 平成26年6月6日から平成26年6月27日まで
平成26年9月4日から平成26年9月29日まで

・受入理由 戸吹清掃工場と北野清掃工場の定期補修工事のため

・搬入量と台数 778.91トﾝ 404台

②町田市からの「可燃ごみ」受入れ状況

・受入期間 平成26年5月26日から平成26年6月20日まで

・受入理由 町田市清掃工場の耐震補強工事のため

・搬入量と台数 1,917.03トﾝ 725台

③町田市からの「不燃ごみ」受入れ状況

・受入期間 平成26年9月29日から平成26年10月23日まで

平成 26 年 11 月 17 日から平成 26 年 12 月 4 日まで

- ・受入理由 町田市清掃工場の粗大粉碎設備の改修工事のため
- ・搬入量と台数 523.81 トン 853 台

(5) 焼却炉運転日数

1 炉運転 平成 25 年度 323 日、平成 26 年度 330 日

(6) 環境測定結果

表を用いて説明 法令による基準値以下に自主規制値を定め、ごみ処理を行い、平成 26 年度の測定結果は表のとおり安定的な運転を行うことができた。

(7) リサイクルセンター運営状況

開館日数・来館者数 281 日 29,920 人 多目的室利用実績 269 回
リサイクル品販売実績 家具・木材等 6,427 個 自転車・部品 141 点
不用食器のリサイクル 持込者 505 人

(8) 平成 27 年度予算概要について

予算規模、歳入・歳出それぞれ 20 億 5,463 万 1 千円

(9) 平成 27 年度の事業予定について

①仮称唐木田クリーンアップ実行委員会について

②地域協議会について

③主なイベント

- ・地域交流事業 たまかんフェスタ 10 月
- ・施設見学会 夏休み子ども清掃工場見学会・煙突登り 8 月

④構成市間のごみ応援受け入れについての直近の予定

- ・町田市 時期 5~6 月 3,450 トン
- ・八王子市 時期 6 月 600 トン、9 月 450 トン

2 質疑応答

質問 1 焼却炉運転日数の中で平成 27 年度の 2 炉運転予定が 0 日になっている。これは、ごみの減量によって炉の稼働が少なくなっているに見えるが、今後の方針として経費を含めてどのように考えているのか。

回答 1 いかにもコストの削減をするかは重要な問題と認識している。2 炉運転を行えば、売電は増えるが、ごみが無くなり炉を停止せざるを得なくなる。1 炉運転で細く長く運転する方法が効率が良いので、その方針で運転を行っていく。経費の抑制策については、長期修繕計画を立て計画的に修繕を行い対応していく。また、長寿命化計画を立てると国の補助金が交付されるので、そのような制度を使い持ち出し分を減らして対応していく。

質問 2 2 炉運転を行うと環境測定の数値はあがるのではないかと。

回答 2 2 炉運転になっても数値があがることはありません。法規制値や自主規制値を現在大幅に下回っており、2 炉になっても変わりません。

質問3 リサイクルセンターの運営状況について販売の実績は記載されているが、売上金額はどのくらいあるのか。

回答3 平成26年度は2月末現在でおよそ324万円が家具や自転車の売上額です。前年度と比べると、平成25年度は3月末でおよそ360万円の売上なので前年度を超えることは難しい状況ですが、例年350万円前後です。

意見1 地域協議会について報告会が開かれている状況で、新たな運営協議会を作る必要性は感じない。

質問4 今年度の応援ごみの受け入れについて受け入れを行った理由は何か。

回答4 八王子市は定期的なオーバーホールに伴い焼却炉が停止するのでその分を応援で受入れます。町田市は清掃工場の頭脳部分であるDCSを交換することに伴い焼却炉が停止するので受入れます。

質問5 環境基準を維持するのに必要と思われるバグフィルターの交換は定期的に行っているのか。

回答5 毎年行っている機器補修工事の中で計画的に分析を行い必要な時期に行っています。

質問6 清掃工場に搬入する事業系の収集業者に対し唐木田の住宅街を通らないように市の委託を受けている業者と同じように指導していただきたい。

回答6 事業系の許可を受けている業者に対して指導を行っていきます。

質問7 ごみの搬入量が減ってきているなか、借金（公債費）の返還が終わるとのことなので早期の建替えを含めて、今後建替えの時期には施設規模等どのように考えているのか。

回答7 ごみ量は今後増えるとは考えにくい。施設を計画する時に予測される人口規模に応じた施設を考えているが、施設規模は小さくなると考えている。現在は200t/日の焼却炉1炉を連続で運転できない状況になっている。今後の建替時には炉の規模を小さくした複数炉で計画を立てることになる。建替えは古い施設を稼働しながら同じ敷地内に新施設を建設することが望ましいが、できなければ、建設期間中は他の市に応援をお願いすることになる。2月11日に地域説明会を行いその中で収集区域の拡大についての検討状況の中間報告を行ったところですが、その後の展開については、構成市間で調整がまとまりしだい改めて連絡をして説明会を開くことを考えている。

意見2 理想は清掃工場がなくなるのが理想だが、建替え時には処理量などを十分考慮して計画を立ててほしい。

意見3 搬入経路に関して収集車に住宅街を抜けないよう指導をしてほしい。

意見4 地域協議会については現状の報告会でよい。

- 意見 5 ごみ問題は三多摩地域全域で行うように考えた方が良い。一つの清掃工場だけでなく灰の処分を広域で行っているのと同様に処理を行えるように働きかけて欲しい。
- 回答 8 二十三区は一部事務組合でごみ処理を行っている。三多摩地域においても広域でごみ処理を行うことが望ましいと考えるが、乗り越えるべき問題があるので検討をしていきたい。
- 意見 6 尾根幹線道路について搬入車の問題があるので早期に整備をお願いしたい。
- 回答 9 東京都の整備計画に入り、先日説明会も開催された。アセスメント等を行い今後整備される方向である。
- 意見 7 地域協議会について各自治会に人員的な余裕がない。環境組合がしっかりやっけていただいているので、地域協議会の必要はないと考えている。ただ、継続的に地域住民への情報のフィードバックの方法についてはこれまで以上のことを期待している。